

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

議会広報広聴調査会記録

平成 29 年 6 月 1 日(木)

14 : 30 ~ 15 : 20

議会 第1委員会室

- 【出席者】 芦谷委員長、申崎副委員長
 足立委員、岡野委員、柳楽委員、小川委員、野藤委員、
 飛野委員、平石委員、牛尾昭委員
- 【事務局】 篠原次長、田中書記

議 題

1 議会報告会&井戸端会の反省

(1) 意見・要望の取り扱いについて

・ 執行部に回答を求める意見・要望を担当委員が報告書から抜粋し、事務局に提出（6月8日〆切）

→正副委員長、事務局と集約して次回委員会に提示する。

(2) 各会場の課題・問題点について（意見・要望）

(3) 今後の議会報告会の運営について

・ 議会広報広聴委員会で団体と意見交換会を試行的に行い、議会報告会、地域井戸端会の本来の目的を再確認する。

・ 意見交換会を実施後、運営方法等を議運・全協にて諮る。

2 その他

(1) 市議会だより第46号の発行日程について

・ 別紙発行日程にて説明

【議事の経過】

[14時 20分 開議]

芦谷委員長 | 今日、平石さんは親族葬儀のため欠席です。同じく串崎副委員長も45分には地区の行事があるので帰られます。早速始めます。

1. 議会報告会&井戸端会の反省

(1) 意見・要望の取り扱いについて

芦谷委員長 | これについて今までの経過が分かれば。

田中書記 | (以下説明)

芦谷委員長 | 岡野委員が自分の分を一生懸命やっておられますが、一応7件ほどはここに出ています。長いので目を通していただくのは後として、これの扱いです。昨年5月には執行部の回答を要求して、市議会だよりとホームページに掲載したということと、昨年10月分については色んな協議したんでしょけれど、執行部に回答は求めず市議会だよりとホームページに掲載したということです。率直にこの前の議会報告会に出て主催をしてみられて、こういった意見についてはどういった扱いにした方が良いかについて、意見があればお願いします。

例えばホームページはそれほど人が見るのかな。

田中書記 | 見られると思いますが。

芦谷委員長 | 市議会だよりに載せた方が、次回のPRにもなるし。紙面の都合はどうなんですかね。

田中書記 | 後で説明しようと思っておりましたが、お配りしている日程表を見てもらったら分かるように、6月定例会が、例年なら1日から始まって19日終わりの議会だよりを8月1日発行なんですけど、去年に引き続き今年も6月中旬始まりの7月4日終わりなので、どうしても発行が8月1日には間に合いませんので9月1日にしようと考えています。このたびは改選もありますので、9月1日号がこの会の最終編集になると思いますが、少しページを増量してこのたびのを載せようかと。増量した分、改選後の12月1日号は事務局側で作りますので、ページを減らすというのを考えています。

日程のとおり9月1日号に載せるとなれば、早めに意見集約をしないとイケません。紙面の都合としては今そのように考えています。

芦谷委員長 | どうですか。率直に行ってみられて、参加者も減少。市議会に対する関心を高める意味でしっかりした報告を市議会だよりに載せて、市民の参加を促すのが大事だと思います。出てみられての意見の扱いについてご意見があればお願いします。牛尾昭委員。

牛尾昭委員

2ヶ所行きましたが、人数の多い少ないは別にしても傾聴に値する意見や、もっともな意見がありました。全体的にページの許す限り、市民からの意見は掲載すべきではないですかね。

芦谷委員長

他はどうですか。小川委員。

小川委員

私も2ヶ所回ったのが波佐と美川だったので、どうしても中山間地域の人口減少問題と田畑の荒廃、人口減少などがすごく感じやすいので、それに対する色んなアイデアが出るんですよ。極端な例だとヘリポートを作れだとか、田んぼの間の道を広げるように市から支援してもらえないだろうかとか、外国人がどんどん入れるような形はどうかとか、市営住宅を少し奥に入った所に作ってくれとか、そういうことを色々出されるんだけど、それだとどちらかというところに対して市がどう考えているかを聞きたい方が多分おられるような気がします。だからこれをそのまま執行部に提示されるのか、回答を求めるものだけを絞って出されるのか、その辺が分かりにくいんですが。いくらかはそういう形でやった方が良くないかなと思います。

芦谷委員長

他に。飛野委員。

飛野委員

このまとめは……。

田中書記

これはホームページに載せている意見・要望です。

飛野委員

議会だよりにいくつか載っていたよね。

田中書記

はい、これから抜粋して載せました。

飛野委員

ホームページもそうだけど、やっぱり議会だよりに分かりやすく、共通した部分を載せてあげて欲しい。折角ああいう発言をはっきりされているわけだから、執行部の回答も含めて。あれほどの程度集約したのか。

芦谷委員長

10分の1くらいですよ。

田中書記

去年は載せる・載せないを一応言っていて、あとは委員長が項目ごとに分けていただいて、文章を作っていて。そうするとちょっと時間がかかるので、それを省くではないですが、皆さんが行かれた公民館で各々あった意見をこの場に出していただいて、それをうちの方でまとめて下す。読ませてもらうとダブるところがあったりするので、出られた公民館の、これだけは執行部に聞きたいというのを言っていたらと思うんですが。

芦谷委員長

牛尾昭委員。

牛尾昭委員

議会はファシリテーターとして各公民館で出た意見をまとめるわけですから、ある程度の一つの流れがあるので、それはやはり回答含めて載せてあげないと何のためにやっているのか分からないので、それは守るべきで

はないかと思います。

芦谷委員長

他にありますか。中身までは見てないので、できれば先ほど言われたように広報の締め増刷の可能性もあるのでちょっと整理してみて、何ページくらいになるか分からないけど、ある程度絞って9月1日号に載せるということになるわけですね。

田中書記

執行部に回答をいただいてということですね。

芦谷委員長

そういう扱いだっただね。

ちょっと話は逸れますが、この前視察に行った反省もしなければいけないと思います。帯広市で委員会負託はあまりせず、委員会で提言をなさっている例がありました。思いつきなんだけど、折角なので公民館8ヶ所が出た意見を項目で整理しながら、地区の独自性を出しながら、あの場で意見をそれらしくまとめていって分かりやすくした方が良いなと思ったりしたんですが。見せ方なんかも、ある程度項目の絞りやらまとめ方や、執行部の意見をどうするかということ。こういう意見があって、執行部の意見もそのまま載せるのが良いのか、市民からの提言をそのまま載せるのが良いのか。何か良い意見をお伺いします。野藤委員。

野藤委員

去年のホームページですが、項目がある程度くくってありますよね。例えば中山間地域の課題についてということであれば、農業改革だとか人口の低迷だとかあると思います。まち中では商店街のあとに色々できたり。3つくらいのくくりにして、それからまた小さい細目がいくつかあるんですが、あまりたくさんあるよりは3つくらいの下にまた3、4つ意見があって回答があるくらいの方が、見る方は見やすいと思います。項目をある程度絞って振り分けてしまえば。

芦谷委員長

Q&Aみたいな形で。

野藤委員

そうです。報告書が出ているので、報告書で1本にして分けてくくってしまえばできるのかなと思ったりするんですけど。報告書から文言だけ全部抜き出して分類して。これを見ながら1つ1つするのは大変だから、それなら。それも簡単ではないかもしれませんが、できそうかなと思ったりするんですが。

篠原次長

それぞれ出かけられて班ごとに報告書を出されていますよね。班の方が一番ニュアンス等が分かると思うので、その班の方で意見をピックアップされるのが早いのではないですかね。

野藤委員

それでも良いと思うんですけど。

篠原次長

皆で言えば、また大変な時間がかかるのではないかと。思って。

野藤委員

これを見てグルーピングをしていけば良いのかなと、単純に思ったんで

すが。

田中書記　　なので行かれた所で意見を出してもらって、それをこちらが振り分けるようにすれば良いのではないかと思うんですが。

牛尾昭委員　　了解。それで良いじゃないですか。

野藤委員　　グルーピングすれば、その中で、これは中山間地域の課題だなとか、ある程度のくくりにしておけば、集まった時にはまた分類へ入れていくと思うんですけど。

芦谷委員長　　柳楽委員。

柳楽委員　　振り分けるというのが、執行部に対して上げるものと議員の中だけに収めるものとあると思います。結局は皆さんに「こういう意見があった」というのは出すんですが、まず執行部にどれを出すんだという所も、その班の人が選んで、ということで良いですね。

田中書記　　そうです。

串崎副委員長　　雰囲気が一番よく知っているんだから、ということで。

柳楽委員　　その部分も含めて班の中で、ということですね。

岡野委員　　単なる愚痴の場合や、本気で言っているわけじゃないものもあります。こちらも普段思っていることを言ってくださいと言っているのです、そのあたりは忖度してください。

芦谷委員長　　まだはっきり見えない所もあるけど、班ごとにやってもらうということで班長さんをお願いするなら、広報広聴のメンバーを窓口にして班長さん方と相談していただいて。

田中書記　　ここでやった方が良いと思います。

芦谷委員長　　失礼しました。広報広聴メンバーが……。

田中書記　　色々出ておられるので。

芦谷委員長　　ということでやりたいと思います。

田中書記　　報告書が出ていますよね。思い出していただいて、ここから選んでいただけたら。

牛尾昭委員　　これ以外のものは出てこないのか。

芦谷委員長　　まとめ方はある程度話しておかないと、ものすごく長くても簡単にまとめてもいけないし、およそどの程度にまとめれば良いかな。

牛尾昭委員　　それは正副委員長がしなさいよ。

芦谷委員長　　ではそうしましょう。場合によっては班同士で合併するのがあるかもしれない。

田中書記　　それは後からこちらで振り分けるということで。

芦谷委員長　　はい分かりました。ではそういうことで、議会だよりのページ数を増や

すことも頭に入れていただいて、自分の班でやりとりしたことを頭に浮かべながら報告書をまとめていただいて、今度の広報広聴後で突き合わせましょう。

- 田中書記 今ではダメですか。
- 芦谷委員長 宿題です。
- 牛尾昭委員 今やらないなら締め切りを決める。
- 田中書記 今ではダメですかね。
- 牛尾昭委員 急ぐんだ。
- 芦谷委員長 一度見てもらって、この日程でしましょう。素案作り。
- 田中書記 これは19日以降なんですよ。
- 芦谷委員長 ああそうか。
- 田中書記 今はしない？。すみませんしつこくて。
- 野藤委員 回答をもらわないといけないからでしょう。
- 柳楽委員 そうですよ。
- 田中書記 そうです。7月25日に校正作業を入れていますが、ここまでには回答をいただいてこの場で皆さんに出さないといけませんよね。なので逆算して考えていくと、19日までにはもう出していただいて……19日ではちょっと遅いかと思いますが。
- 野藤委員 質問項目を事務局に出すということ。
- 田中書記 はい。
- 芦谷委員長 それなら一般質問と一緒にするか。12日だったかな。
- 田中書記 13日です。すみません今日木曜日なので、1週間後ではダメでしょうか。1週間後の8日。
- 牛尾昭委員 月火水いないけど木曜には……ああ無理だな。
- 芦谷委員長 一般質問通告の切日。
- 足立委員 そんなに難しいことじゃないよ。
- 田中書記 ここから選んでもらうだけのことなので。
- 牛尾昭委員 抜粋して選べば良いだけなんだから。
- 野藤委員 8日で良いじゃない。
- 芦谷委員長 はい分かりました。
- 田中書記 良いですか視察があるそうですが。
- 野藤委員 大丈夫です。
- 牛尾昭委員 8日に帰ってくるから。
- 田中書記 良いですか。では8日までに。
- 芦谷委員長 8日までにお願いします。

田中書記
芦谷委員長

出られた各公民館のをお願いします。
うまくまとまりました、ありがとうございます。8日までに各班でまとめて出してもらおうと。

(2) 各会場の課題・問題点について（意見・要望）

(3) 今後の議会報告会の運営について

芦谷委員長

(2) (3)について、会場設営、時間帯、運営方法等について、何かあればお願いします。飛野委員。

飛野委員

参加者が少ないということ、地元の方たちがおっしゃっている。実際にそうだった面もあるんですが。その要因は結局何か。こちら側にあるかもしれないし、向こう側にあるかもしれないし。実際の意見として出ていました。

芦谷委員長

参加者が少ないということを感じてはいます。その他にありましたらお願いします。牛尾昭委員。

牛尾昭委員

参加者は少なかったけど、その分だけ議論が深まったのと、皆さん共通の問題事項があれば行って一言言ってやらなければいけないという面もあるが、今回はどちらかと言えばそれがなかったというのも原因なので。所沢へ行った時、一喜一憂しないと言われました。こちらのスタンスを守ってやっていて、今回少なかったということあまり一喜一憂しない。一定レベルのものをやっていけばそれはそれで良いんじゃないかという話もありました。場所によって少ないのは伝統があるんですよ。普段そこで生活されるのに地域課題があまりないという所は、やっぱり少ないです。弥栄とかは多分多いと思います。地域課題を結構言われるので。それ以上やろうと思うと、全く違う議論をそこに組み込んで、例えば我々歌手呼んできて後でやりますよとか、お笑いやりますよとか、そういう所をちゃんと打ち出そうよ。何か違うことやらないと。

岡野委員

ケーブルテレビで討論会やるとか、そういう企画にすれば見る人も増えるし参加する人も増えるかも。

牛尾昭委員

いつか言ったんだよ。デッドタイムがあるんだらう、デッドタイムで市民参加でしゃべり場みたいな感じでやって、それが流れるということになると、出てしゃべってやろうかという人も増えるので、それも1つの方法だと思うんだけどね。今まで「ここはすごいですよ」という所を全国歩いたけど、全国一の所へ行ってもなかったわけだから。

芦谷委員長
柳楽委員

柳楽委員。

ここ何回か井戸端会をさせていただいて、何か1つの話題が定まってい

ないと色々な意見が出るだけになってしまって、そこを深く掘り下げていくということがなかなかできないと。そのことに対しての皆さんの意見というのを聞くまでに至らないというのが、1つ課題だと思います。出来れば1つの団体であるとか、若者なら若者対象という限られた対象の方と話をすることが、逆に良いのかなと感じるようになりました。

芦谷委員長
牛尾昭委員

よく分かりました。

柳楽さんがおっしゃったのは、この間僕らは芽室町へ行って、例えば高校生を集めてやる未来会議とか、おでかけ井戸端会みたいなものをやったり、年2回やるなら1回はそのように各グループで行く団体を決めて、おでかけしてやるというのを入れてみるのも良いんじゃないですか。8班がそれぞれ探して行く、来てもらっても良いし。

芦谷委員長
牛尾昭委員
芦谷委員長
牛尾昭委員

重要案件の検討事項の分と被りますよね。

被らないよ。

違うの。

重要案件はテーマが決まっているわけだ。今の話は団体との意見交換会だから。被る部分があるかもしれないけど、被らない部分が多いと思う。

芦谷委員長
野藤委員

野藤委員。

このたび転換期だろうと思いました。この間視察に行ったように団体とか学生とか青年団体でも良いですけど、そういう形に切り替えるべきだなという思いはありました。そうするとある程度テーマも絞られるし。

牛尾昭委員

続いて言うなら、改選があるわけですから、次から年2回のうち1回はそういう団体との意見交換会をされたらどうかというのを申し送りするのはどうですか。1回は今までのようにやるけど、1回は団体等へ出かけていってやるべきではないかという申し送りの、1つの考え方ではないですかね。

芦谷委員長
柳楽委員

柳楽委員。

小川議員と私は同じ班だったんですが、その班の中で出たのが、この議会報告会の運営をしていくのに、広報広聴の場だけではなかなか考え方の統一とかもできないし、やる気になっている方との温度差みたいなものもあったりするので、これについては議会全体で一度しっかり検討する必要があるのではないかという話が出たんですよ。そういう所も含めて考えていただきたいと思えます。

芦谷委員長
小川委員

その他に。

僕らも確かに広報広聴で方向性を、1つはそのようにしたらどうかというアイデアもあるし、視察へ行ってもそう感じました。高校へ行ったらどうだろうかとか、老人クラブへ行くのはどうか。実際には保育園との意見

交換会等はあるかもしれませんが、そこだったら課題がはっきりするんだけど、例えば広報広聴としてそういうのを1つやるべきじゃないかとするのか。実際には井戸端会にしても全部見られているわけですよ。限界かどうかは別にして、人もだんだん減ってきて固定化してきている中でなかなか議論が深まらない。議会としてやることに意義があるというのももちろんありますが、何度かやってきた中でこうしたら良いのではああしたら良いのではという意見があると思います。広報広聴の中でこういう案はどうかと1つの方向性を出すのか、それかそれこそ議運で継続して良いだろうかを問題提起した方が良いんじゃないかと思います。あまり全部を広報広聴で考えるのは重たすぎる議論ではないかという話をしました。

芦谷委員長
足立委員

足立副委員長。

この井戸端会自体の本来の目的というものが、議会を広く市民に理解していただくという意味であれば、現状色んな団体等でも良いと思いますが、例えば参加者を増やすために議員全員で議運にはかってくれというのであれば、それは当然議運にはかるべきだろうと思います。そこら辺の目的がはっきりしないために、議運にはかるべきかどうかという話自体も、そこに行くまでにこの広報広聴で、井戸端会自体、議会報告会自体の本来の目的を再確認して、どうしたいのかの方向性をきちんと確認するべきだろうと思います。

それから各会場の課題の点ですが、やはり土曜の午後は非常に出にくいんだなということはどうしても感じたので、ちょっとここはもし申し送りするにしてもやはり夜かなと思います。

芦谷委員長
牛尾昭委員

はい。他はどうでしょうか。

広報広聴常任委員会の位置づけからすれば、この委員会が広報広聴に行くのは別段問題ないんだね。ただ、その辺の線引きを最初から、議会全体でそういうことをするのかということについては、例えば重要案件もあるし、広報広聴だけで広聴の色んなレポートをするのであれば、それはそれで委員会条例に照らし合わせてみれば問題ない。このメンバーだけでやるなら問題ないんだね、今の委員会条例の中で言えば。ただ、全議員が分けてあちこち行くとなると、もう1回議運等でやってもらわないと、そのやり方だとちょっと違うので。先行して広報広聴委員会で出かけて行って、試しにやってみれば良い。やってみただけこうだから全体的に見直してくれた方が、と言った方が説得しやすいんじゃないだろうか。

足立委員

広報広聴でやったけど難しかったという結論になれば。成功したらそれを広げようか、でも良いし。

牛尾昭委員 ああ。委員会条例で広報広聴委員会はそういう委員会なんだから、僕らだけで広聴できるわけだから。条例で定められた委員会なんだから。そう思います。

芦谷委員長 今、2番3番と一緒に配っていますね。色んな意見を出してもらって後でまとめて一度確認をする機会はあるよな。

田中書記 はい。これについてはまだ。

芦谷委員長 だから今日出していただいた分は再度持ち帰って考えてもらっても良いし、一応、整理してみますし。重要案件の問題との絡み等も少し整理して、少し大きな話になる部分と広報広聴で思考する分と、狭あいみたいなこともあるかもしれませんが、そういうことを整理してから時期への申し送りをするということで良いでしょうか。

牛尾昭委員 自分らが行って未来会議というのは高校生とやっているわけでしょう。この前も行ってやっているわけだから、そんなに。1回行ってみれば良い。

芦谷委員長 議運と全協をやってみて、議運がなかなかそういうところまで行かないんだよな。ある程度作って決まったものなら行けるだろうけど、どうかどうかというところまで議論がする仕組みになっていないから今までが。そういうことを含めて議運でもはかってみますし、場合によっては言われたように広報広聴委員会で試行する方法もあるかもしれません。

牛尾昭委員 とにかくこのメンバーで行けるんだから、やろうと思えばできるじゃない。いろいろ言ってもらっても困るし。

野藤委員 ここでやりましょう。
(同意の声あり)

芦谷委員長 柳楽委員。

柳楽委員 広報広聴メンバーで試行的にやってみるというのは別に良いと思いますが、これまでやってきている議会報告会をやる場合も、今までどおりの形でやるんですか。

芦谷委員長 議会報告会と井戸端会は続けられないといけない、ただ井戸端会みたいなものについては参加者も集まらなかったりするから、広報広聴で試行して重要案件みたいなことをイメージしながら、各団体等を議論することを試行するということが大枠でまとめてみて、あとは次期で議論してもらえば良いなど。基本は報告会と井戸端会を続けるということですが、持ち方については場合によっては部分によっては広報広聴委員会で試行することもある、ということだと思います。

牛尾昭委員 いま委員長が言われたのは、申し送りについては現行を踏襲するんだけど、マンネリ化もあるので広報広聴単独でお出かけ井戸端会みたいなもの

を試行してみようという流れでやるわけですね。

芦谷委員長

はい。

牛尾昭委員

まあ良いんじゃない。10月までに1回やれば良いじゃない。2、3時間で済むことだから。

芦谷委員長

小川委員。

小川委員

例えばこの間視察に行った時に、高校生だった場合に翌1月だったですね、その時期が良いということで。ただそれをやる場合に、この広報広聴の中で1月にやろうかと思うけど、学校と調整したりそういうのをやることについてどうかということを決めて、進めるのかです。常任委員会でそれができるか、それとも議運に諮らないといけないのか。

牛尾昭委員

条例で定められた委員会だからできるだろう。

田中書記

最初は議運で議会報告会を主催しておられたんですよね。この特別委員会が常任委員会になってこちらにおろされたと……ちょっと言い方が悪いんですが。

牛尾昭委員

広報広聴の分については広報広聴常任委員会でやるんだから。

田中書記

議運に確認を取るという流れで来ていたんですが。多分条例に……。

牛尾昭委員

議会報告会を2回やるのは1つを井戸端会にするというのは、議運でこのようにしようと思うんだがどうだろうかと言ってOKをもらってやったけども、いまの分は試行的にやるんだから了解を取る取らない以前の問題で、1回試行的にやって良かったから今度は逆に議運に言って、是非議会報告会そのものを転換して欲しいという申し入れを後とするのが良いんじゃないかな、と思います。

野藤委員

ただ議運が一番、議会運営委員会が一番なので、こういうことをやろうと思うということだけでもあれで、決定を受けるとかいうのではなくて、そういうのは報告しておかないと……。

牛尾昭委員

どのみちどこか議長名でするしかないでしょう。今までは3つの常任委員会プラス議運だったわけだけど、広報広聴委員会が常任化したんだけど、その辺の細かい整理はしていないから。

芦谷委員長

例えば女性団体、青年団体、所管委員会の関係もあったりするわな。今パッと思ったのが、この7月くらいの所ままで考えられれば試行してみても良いなと思いつつあったけど、日程的にもどうかなと思ったりするんですがどうでしょうかね。

足立委員

例えばうちの中で言うと議会だよりのことについて、市民の意見を広く求めても良いわけではないですか。あと広報の仕方、経過、それくらいなら答えられるし。結局議会報告会の議会基本条例の中にも、市民の意見を

把握し議会活動に反映させるため、というのを目的として書いてあるわけだから、それであれば別にそんなに。

牛尾昭委員

所管委員会だけでは話が長くなるけど、全委員会は多いし。かえってテーマによって面白いと思うんだけどね。まあやってみれば良い。

芦谷委員長

やりますか。

足立委員

構えなくても良い気がするんですがね。

牛尾昭委員

やってみようや。失敗すれば失敗したのがよく分かるよ。

岡野委員

僕なんか例えば商工会議所青年部とか、年齢幅もある程度広いんですよ。20代から49までいるわけで。1つの世代だけになるとまた意見が偏るけど、30歳くらい離れていると。組織があると頼みやすいというものもあるし、どうかと思います。JCは年代がどうしてもコアな所があるので。

牛尾昭委員

年齢は問わない、バラバラになって。

柳楽委員

でもそれはそれで良いんじゃないですか。女性のいうところで。

足立委員

対象はまた考えましょう。試験的にやってみるという方向で良いんじゃないですか。

芦谷委員長

何月に。

足立委員

7月でしょう。

牛尾昭委員

意見交換だから。

芦谷委員長

それでは今出たから、女性ネットワークと会議所青年部に言って、時間は夜間かな。

牛尾昭委員

まあ6時半くらいからだろうね。女性ネットワークは分らん。

田中書記

それは意見交換会ということで、大まかに言うことで良いですか。

牛尾昭委員

まあ切り口は広報広聴メンバーが行くわけですから、議会広報広聴をどうお考えですかといった切り口があっても良いと思います。

野藤委員

そういう感じで打診しないといけませんよね。

田中書記

そういった意見が聞きたいという感じで始まりで。

牛尾昭委員

もっとどうしたら良いか、例えばそういう話を含めて色々おっしゃるだろうじゃない。

野藤委員

議会広報活動について、色々意見交換をしたい。

牛尾昭委員

ついでに議会は人材発掘もやっていますからと。

芦谷委員長

市議会だよりの紙面批評もしてもらったら良いと思うんだよな。

(「その辺をみなまとめて」といった声多数)

足立委員

そういう意見交換会ということで。

牛尾昭委員

あきる野市に去年行ったのは、その地区の人物を特集するシリーズやっていたじゃない。ああいうのを。

牛尾昭委員
野藤委員
芦谷委員長

行ったところの視察先の活かさないと
ざっくばらんにそういう意見交換をしたいんですというところで。
では、とりあえず来年度に申し送ることを含めて7月中に、女性ネット
ワークと会議所青年部との、特に広報広聴についての意見交換をするとい
うようなことで調整してみましよう。

(「はい」という声あり)

踏まえてまた次期への申し送りを決めましよう。

何か他に言い残しがあればお願いします。併せてアンケートもまた見て
おいてください。アンケートについては何かあるの。

田中書記
芦谷委員長

ありません。

どんな意見が出ているか、また見ておいてください。

2 その他

(1) 市議会だより第46号の発行日程について

芦谷委員長
田中書記
芦谷委員長
野藤委員
田中書記
野藤委員
田中書記
野藤委員
田中書記
野藤委員
田中書記
芦谷委員長

説明をお願いします。

(以下、資料をもとに説明)

以上、説明がありました何かありますか。

防災何とか消防防災訓練

6月11日の分ですね。

何となく7月1日までに写真は難しい

9月1日発行なので、あまり前の分だと問題かなと思っているんですが。

海開きとか。

そうですね、ああいったのがあれば。花火とかだとちょっと間に合わな
いです。

7月中の写真だったらOKですか。

はい。

以上よろしいですか。

(「はい」という声あり)

では井戸端会での意見まとめを各班でしていただいて、8日までに提出
ということをお願いをして終わりたいと思いますが、よろしいですか。

(「はい」という声あり)

ありがとうございました。

[15時 20分 閉議]

浜田市議会調査会規程第6条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 芦谷英夫